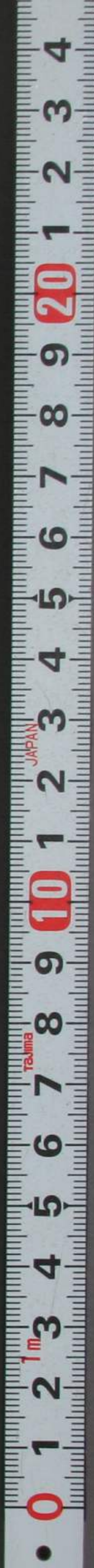


古今名物類聚

中興茶入之類

一

79
3759
1



陶宗尚古老人著

古今名物類聚

東部書林

金花堂梓

古今名物類聚

陶宗尚古老人著

凡例

一 凡名物之稱者、其類多。蓋照相公、系之類、
 悉、其、也、孫、以、東、山、此、別、業、之、系、會、
 を、あ、う、け、古、今、の、名、實、の、事、孫、孫、孫、孫、
 在、此、類、を、孫、孫、多、い、た、ら、は、由、所、の、教、の、先、
 孫、阿、孫、お、河、海、之、信、せ、あ、ら、う、皮、此、之、事、也、
 十、五、之、凡、各、之、孫、此、名、也、價、之、定、也、
 也、孫、之、次、之、信、長、考、名、此、之、事、也、亦、此、之、事、

多門
195
1



好せ給ひ利休宗及等に依せり。名成所
價をも定りし。先く後世是善此意を
稱し。多し名物少し。子守小堀を別公
大徳成業一。多し。藤田邸以下。後室
嫡子。此うら小も。古瀬戸。唐物。よも。ま。り。は。
お。ま。あ。ま。し。も。世。の。用。ひ。ら。れ。せ。り。此。を。惜。し
多し。それ。あ。つ。た。も。ま。り。れ。を。家。を。撰。ん。だ。く
り。名。成。流。せ。り。た。る。ふ。り。世。に。ま。り。く
を。や。す。事。と。な。た。れ。り。今。是。流。中。興
名。物。と。移。り。それ。を。ま。り。て。乃。ら。古。代

此名物をなげ。大名物と唱れし

一大名物なる多し

公深御物少し。た。ま。ま。り。の。名。や。こ。り。れ。り。
お。此。納。致。し。し。多。し。ら。れ。を。れ。り。た。り。ま。り。
世の人。名。を。れ。り。ま。り。し。も。の。に。あ。り。あ。
て。れ。り。ら。り。し。り。ま。り。ら。り。く。お。ま。あ。り。然。る。も
初め。其。意。此。流。せ。り。あ。り。ま。り。れ。り。の。流。記。
ら。な。り。た。り。し。事。流。せ。り。今。流。記。お。ま。あ。り。流。記。
お。ま。あ。り。し。り。て。次。編。み。お。ま。あ。り。し。り。大名物
を。流。せ。り。し。り。中。興。名。物。を。ま。り。し。り。

此の如き。今世に用申され成りしとす
斗はけあり。

一 小壺を焼くは。元祖源四郎なる所
下。鼻祖といふ源四郎本名が源四郎と
いふ。友四郎無くふ。成りしとす
たうれ造り。

後堀河帝貞應二年。永平寺此無山元
浮所と造り入唐。唐古に造りし
五子陶器此法を傳はる。安貞元年
八月。常陸守。唐古此と茶。成りしとす。

帰。一。一。初。く。尾。別。瓶子。蜜。り。て。焼
た。系。成。有。物。少。移。す。倭。古。和。茶。り。て。く
屋。子。多。れ。を。古。瀬。戸。といふ。古。瀬。戸。を。熱。名
と。す。大。瀬。戸。小。出。し。く。家。を。大。瀬。戸。と。す。り。て。
此。自。小。瀬。戸。之。器。なる。也。小。瀬。戸。と。す。り。て。
小。形。之。出。し。く。を。り。て。い。ふ。大。瀬。戸。も。矣。
と。す。り。入。唐。以。前。也。と。す。り。て。口。元。厚。子。也。
瓶。一。身。と。す。り。大。名。物。と。す。り。て。瀬。戸。を。り。て。
た。り。て。瀬。上。高。き。り。て。瀬。を。り。て。もの。を。り。
瀬。上。り。て。是。け。り。と。す。り。て。成。り。し。と。す。り。

夜物少く混ぶるゝゝ次。堀玉——自ら
いふは出来。悪友とくく。一室中
埋てくく。後、掘出くたるは
見。一説は、寺列り時、式と掘おく
とく。熱く入る。此作。出。牛。田
夫。下。作。不。り。申。ふ。ち。り。古。瀬。戸。煎。餅
を。こ。よ。あ。り。こ。れ。を。同。等。に。此。室。ら。り。も
い。法。の。室。の。う。ら。い。く。火。を。下。く。お
き。ら。し。と。茶。の。せ。比。ち。ふ。れ。出。す。く。此。の
ら。後。夜。共。た。す。く。た。く。ぬ。く。る。上。と。さ。て。

和の古成合くや。下。た。れ。を。ま。ま。あ。り。し。や
し。者。慶。を。後。日。即。法。名。ら。り。二。代。目。此
藤。田。節。作。を。志。中。古。物。す。し。や。後。日。作
唱。る。る。衣。女。成。り。す。也。之。紐。を。古。瀬。戸。に
稱。一。代。目。を。藤。田。節。作。と。稱。す。也。同。名
二。入。法。を。そ。た。る。故。混。せ。ら。る。も。衣。女。唱
は。た。れ。ち。り。藤。田。節。作。共。ら。も。衣。女。唱。也。
三。代。目。後。次。即。是。成。中。古。物。す。し。や。
中。古。物。と。い。ふ。破。風。室。の。作。也。た。も。葉。茶

諸書小治をきよとの並みありとも正し
うらな頼りも此を正しと名あり十分
志ありて中其位をせしむ。世後歎き
見又各圖記乃正しを成得るを正し
漢の記もたきく補ふ也。

一 漢書家に其意圖をなす哉平小治の美
中事ゆふすまた之ゆりてハ。却て之
形異なる極りて中事ゆふ見れ此
既小治をせりて分すにこうくも此
とも之状を撰書れを實とす其状

並み此ふす少く。漢書家に此と若者
年くつじふ事かうれ。

一 授家并箱か身。法弱。法弱為寺も。此
りし時と勝る書家ゆふ。是ありて
かゝれをけりて字法は假名よりし
極る。一ふ人の之。授家箱も。其極
る。さうれ。きく。書けり。て。或う法す。
一 家々おれの名の字をね。地但紋柄を
おれ。事し。其書より。さうれ。一。
此が此次編る。

大名物 兼成書舎 織物

名物歌記

以上四編あり。校合此今より一た加行一
 樟の一本なり。

一 大名物中古名物此より一も。回嫁小
 じりて名の子孫も一家もあり。幸より
 國記小歌乃孫もく此をありとし此編
 を著す。たること世に知らるる。而れ名
 之。石田氏の^{Suzuki}の^{Suzuki}より一も。其物
 鳥背^{鳥背}より一も。其此後一た加行あり

志乃成孫も心よりあり。然とも大名物ハ
 一、我に何れ流泉此秘著其此心
 ありハ志くとも一なり。一も一も
 ふとも一も此意の事。一も此名を石田
 傳人。且て一も一も一も一も一も
 其志を起し一も一も。其此守心
 打一も一も。其此の意を一も一も。一も
 小なり一も一も一も一も一も一も一も
 申極書。一も一も一も一も一も一も一も
 幸の^幸一も一も一も一も一も一も一も一も

唐物

名物として古今此物よく一人一
家一世此名物ありあり。曰亦此品より
人壽力をなすなり。一給心十中成希
ふこと大難事。

一好

了明了事一 至喜

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

土 赤紫 瓶を焼ニテ赤色アリ

藥 下藥 飴上藥 玉黃
白藥 疔疔 鴨ト云

糸切 逆切之細カニシラノ人等也
板起モアリ

一袴 之浮造リニシテ掛目註シ

藥 敷能之ニ以テ抄ノ黄葉ヲ

文琳 染ト云

○富士山肩衝 松子出羽

一 高ニ寸五厘

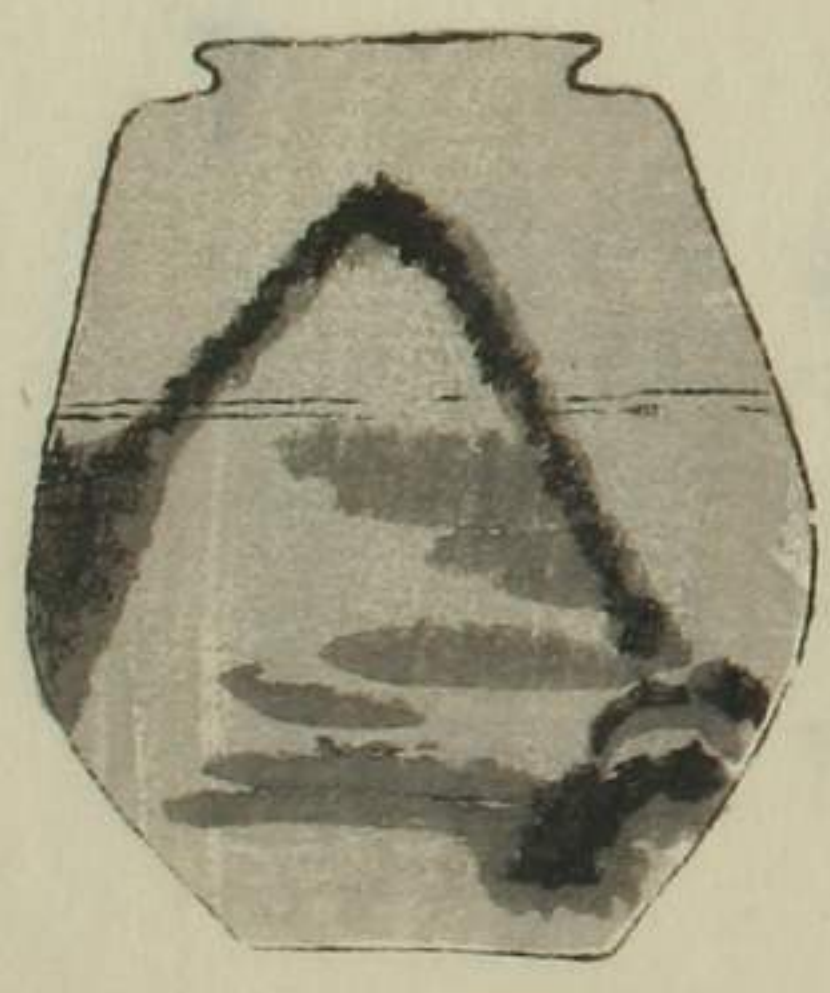
一 胴一寸八分

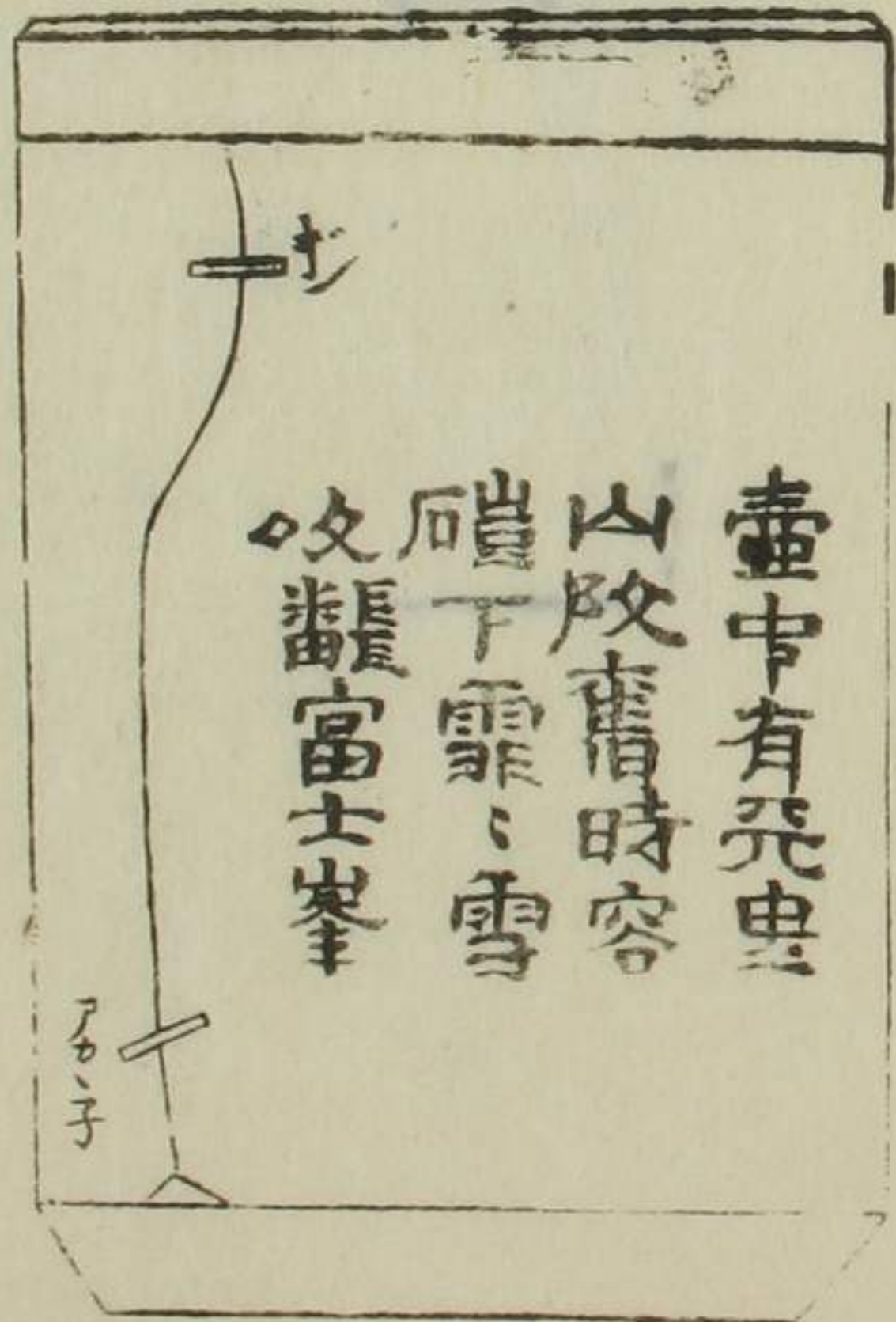
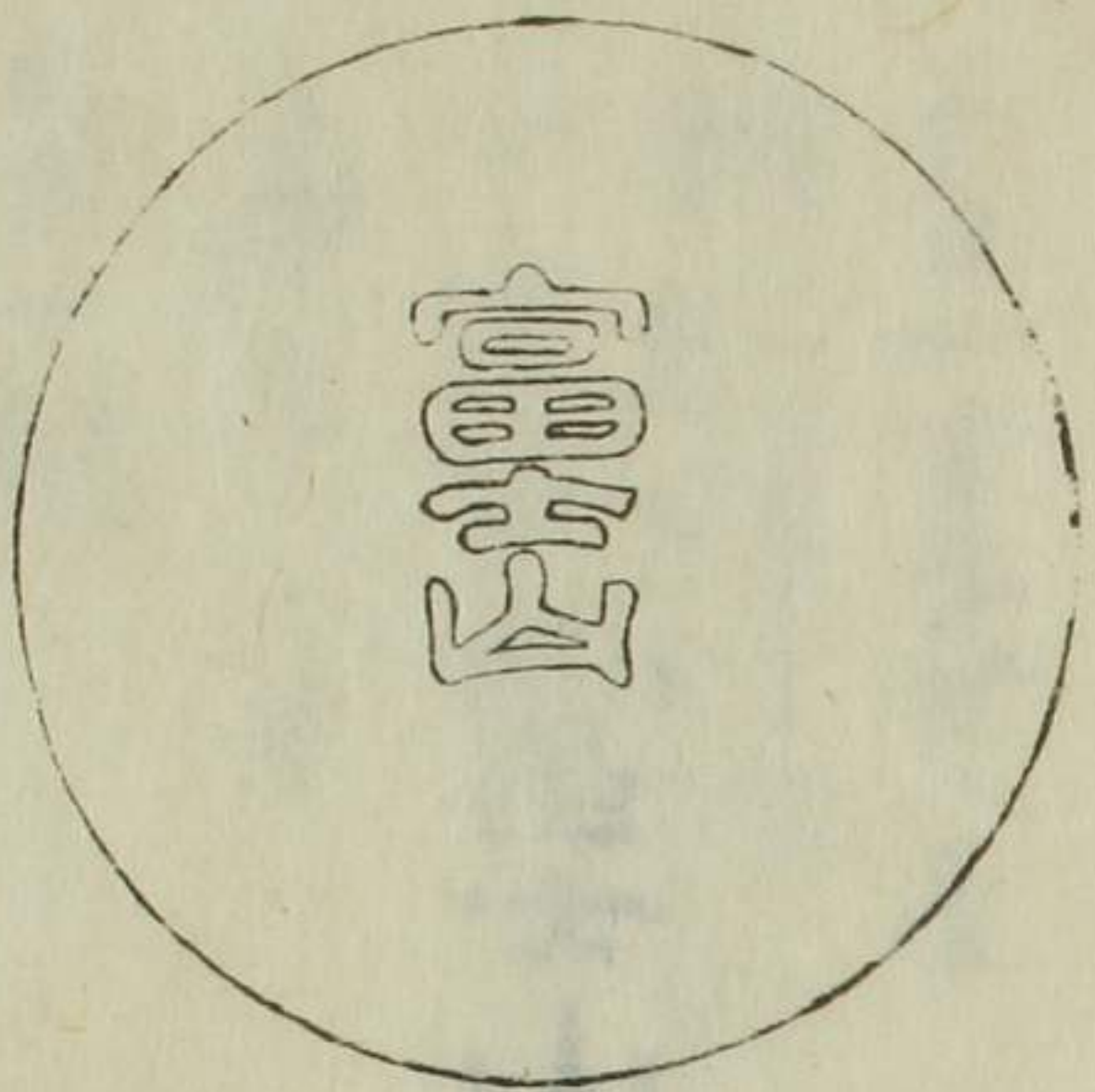
一 口一寸七厘

一 蓋付八分二厘

蓋一枚 案

沙由袋 芸縮緬





袋口

一 白極純子 義のい子 緒ワカリ茶

一 糸言切 糸言切 緒ワカリ茶

一 徳倉か 徳倉か 緒ワカリ茶

一 白古乃織留 裏の緒 緒ワカリ茶

袋口書付

柳と秋肉正盛形松桐小枝散入江月如る
 袋口書付 緒ワカリ茶
 箱桐白木書付宗甫了与若色糸三法

富士山

尻膨 ふくら

一 高 一寸九分八厘

一 胴 二寸九分二厘 肩 一寸三分二厘

一 口 九分半

一 底 九分半

一 蓋 一枚

尻膨

袋

一 本線地模治傷小茶此紋

中箱黒柳

袋河系泥小茶

箱桐白小茶竹柳川 和泉と茶此

○堅田小府御 かたのこ 貞享年入正

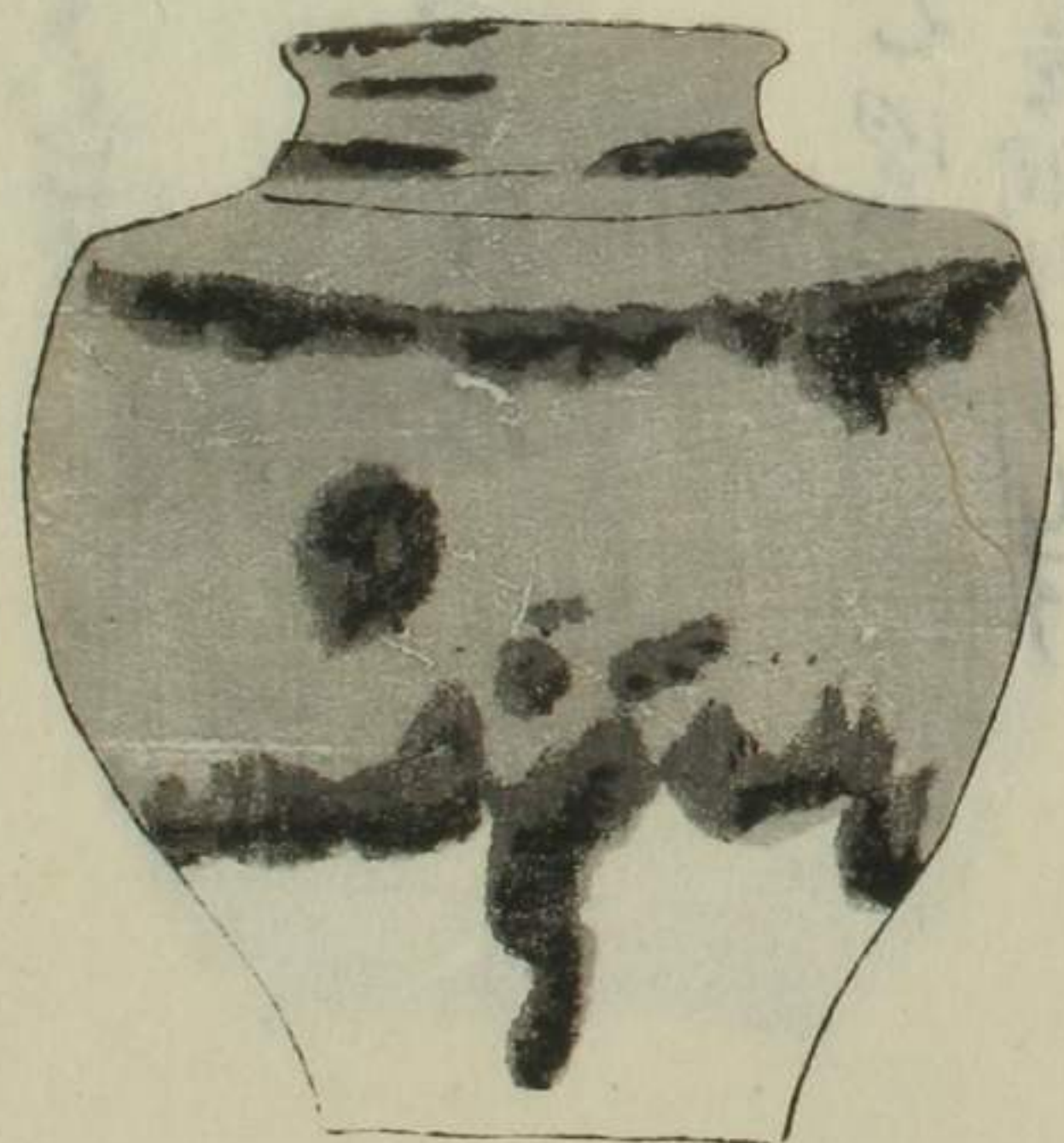
一 高二寸五分一厘

一 胴二寸五分 肩コキ線三

一 口一寸二分一厘

一 底一寸一厘

三五五



袋

一丹地唐花宝珠

一花色梅坪之重蔓と心す

一日野加心と心す

一朱印切地合之振如雲龍紋

袋箱書付宗甫

枕袋黒海老と丹浪と心堅田

袋むしり織急草唐桐紋と心す

箱桐白木と書付宗甫堅田府御

外袋漆草

○岩城文林

松平陸奥守

一高二寸二分厚

一胴二寸八厘

一口八分四厘

一底八分五厘

山加戸あり



芝草四ツ

依和知一枚
忠宗存一枚
立信依一枚
立古依一枚

岩城

袋田

一 白古堂蓮源 念ふまゝ書す
結ツカリ装

一 柳地大角ひ 裏うき装ひ
結ツカリ装

一 浪花色白極綾子 念ふまゝかき
結ツカリ装

一 烏襦袢と心子 裏かき色かき
結ツカリ装

枕泉花欄書付 念ふまゝ持十疋等
五五文琳

装おろした織 裏かき色
結花色

箱桐白木

○ 言ひあはせ 吹上 文琳 松よみ出羽

一 高 二寸八厘

一 胴 一寸七厘九厘

一 口 七厘

高サ二寸九厘

一 座 六分
セキ取

掛目指匠之

吹上

袋

一 緋地多澤とひま 急かひらぬ黄
徳ツカリ尾紫

抄家系牙中次合口糸目上二回筋下二六筋
密糸緋 急かひらぬ黄
徳ツカリ尾紫
箱桐白木

吹五

鶺鴒糖 丸
小堀和おち
糸入肉ふくまは取きわり

一 了二寸七分二厘

一 胴二寸二分

一 口二寸二分

一 座一寸二分半

一 草二枚 内一枚紫

袋

一 花より草 裏はろくろと笠ちよろ
袋ワカリふらふき

一 細地かじ 袋はろくろ
袋ワカリ茶

一 廣東松子 裏は玉串かちよろ
袋ワカリこころ茶

枕 枕 芝担 若竹宗甫

魚交鯨

袋ちよろ 袋 袋 袋 袋 袋
箱柄 袋 袋 袋 袋 袋

鯨鯨

鶴頭

一 高 二寸五分

一 胸 一寸九分二厘

一 口 一寸

一 固 一寸九厘

差 葉

雀頭

袋

一 十ははふとむす 借ツカリ業

一 己を己筋とんむ 借ツカリ友色

袋箱書付宗甫

箱桐書付宗甫

鶴頭

小助

